



※学-Viva：「Viva」は、「生きる」という動詞から生まれた言葉です。三重の「学び場」が生き生きするイメージで名付けました。

## ● 平成30年度全国学力・学習状況調査の実施にむけて ●

子どもたちの頑張りが見える形で表れるよう、そして力が十分に発揮されるよう、実施体制等を整備・確認し、適切な実施をお願いします。

### 平成30年度

全国学力・学習状況調査 調査マニュアル  
全国学力・学習状況調査 調査マニュアル【教室監督者用】

熟読  
しよう



### 調査(実施)前

- ★ 最後まであきらめずに、がんばって解答すること
- ★ 計算や下書き等は問題用紙に書き込んでかまわないこと

子どもたちに  
伝えてください!!

調査マニュアル  
【教室監督者用】  
P.12 参照

### 調査(実施)中の確認

- ★ 問題用紙に解答(回答)を記入している児童生徒がいた場合は、**解答(回答)用紙に記入**するよう指示してください。
- ★ 解答(回答)欄の場所を**間違えずに記入**しているかを確認し、適宜、指示してください。
- ★ 解答をあきらめているような児童生徒には、**できるところから解答を試みる**よう、適宜、指導してください。

### ★ 子どもたちのつまづきを克服するために ★

みえスタディ・チェックや全国学調から明らかになった子どもたちの課題に対応したワークシートを活用し、その学年における子どもたちのつまづきの克服に取り組みましょう!! 活用場面として、授業や朝の学習、家庭学習、補充学習等が考えられます。

### ワークシート、学-Viva!!セットの活用を!

#### ● 「三重の学-Viva!!セット」第8~10弾は・・・

過去の全国学力・学習状況調査や、みえスタディ・チェックで課題がみられた問題を提供!  
第10弾では、子どもたちが自分の力で解くためのヒントを掲載!!

三重県の  
経年的な  
課題

国語は「引用したり要約したりして書くこと」「根拠に基づいて自分の考えを書くこと」  
算数・数学は「割合」「図形」  
理科は「実験・観察の技能(実験器具の名称や操作方法等)」「科学的な用語」  
「濃度、圧力、電気などの計算」

#### ● 「三重の学-Viva!!セット」宿題用は・・・

子どもたちが主体的に家庭学習に取り組めるワークシートです。家庭学習習慣の定着に活用を!!

#### ● 過去の問題やみえスタディ・チェックは・・・

課題が改善されているか、子どもたちの伸びを確認するために再活用を!!

「わかった」「できた」と  
子どもたちが実感できる指導を!!

◆特集◆ **みえスタディ・チェック**  
**& 全国学力・学習状況調査の効果的な活用を!!**

●●●各校での取組モデル●●●

4月17日

4月24日・26日

5月24日

平成30年度  
**第1回  
 みえスタディ・チェック**

- ◆ 対象学年：小学校第4・5学年  
 中学校第1・2学年
- ◆ 実施教科：国語、算数・数学、  
 理科

**自校採点の実施**

「教師用解説資料」に従って採点し、解答類型を判断  
 解答類型を解答用紙の所定の欄に記入

「授業改善サイクル  
 支援ネット」で

集計結果の報告

対象学年の担任や  
 対象教科担当だけでなく…

全教員で  
 採点

課題を  
 学校全体で共有  
 →各学年の指導に  
 生かす

より多くの学校での自校採点の取組と  
 集計結果の是共を依頼します！

平成30年度  
**全国学力・学習状況調査**

- ◆ 対象学年：小学校第6学年  
 中学校第3学年
- ◆ 実施教科：国語、算数・数学、  
 理科

**全国学力・学習状況調査**

**自校採点研修会**

「**自校採点→分析→改善**」に結び付ける  
 調査問題を解き、「解説資料」を参考に  
 採点、分析

採点を通して、教員が学習指導要領の  
 趣旨・内容をふまえた指導内容を理解  
 できる

4月24日（火）県総合教育センター  
 4月26日（木）県四日市・伊勢・熊野庁舎

集計結果の提供

文部科学省へ  
 送付する前に  
 解答用紙をコピー

**子どもたちのつまずきに対応した授業改善を！**

- ◆ **自校採点**を行い、一人ひとりの学力の**定着状況を把握・分析**することで、**個に応じた指導**に生かすことができます。また、小4から中3までのすべての学年で全国学調又は、みえスタディ・チェックを実施することで、何年生のどの内容でつまずいているのかを学校全体で共有し、組織的な授業改善のPDCAサイクルの確立につなげることができます。
- ◆ 県教育委員会では、学校から提供された結果を集計・分析し、分析結果から明らかになった課題に応じたワークシートを早期に配信します。各学校の授業改善や個に応じた指導に活用してください。

# 平成29年度 みえスタディ・チェック



## みえスタディ・チェック平均正答率および平均無解答率

小学校			平均正答率	平均無解答率
小4	第1回	国語	70.3%	5.4%
		算数	62.8%	3.4%
		理科	59.0%	5.0%
小5	第1回	国語	61.3%	6.7%
		算数	68.1%	4.4%
		理科	57.5%	3.1%
	第2回	国語	60.6%	7.9%
		算数	54.8%	4.3%
		理科	55.8%	3.9%

中学校			平均正答率	平均無解答率
中1	第1回	国語	62.6%	3.7%
		数学	64.8%	3.7%
		理科	47.3%	4.9%
中2	第1回	国語	67.6%	3.3%
		数学	47.2%	6.9%
		理科	45.8%	9.1%
	第2回	国語	56.2%	5.7%
		数学	46.8%	9.0%
		理科	33.4%	10.9%

※平均正答率・無解答率については、県の確定数値で表示しています。

強み ○  
弱み ▲



## 平成29年度 各教科における 強みと弱み

### 小学校

### 中学校

#### 国語



- 文脈に即して漢字を正しく読むこと
- 目的に応じて、段落相互の関係を考えて読むこと
- ▲ 主語と述語の関係を捉えること(主語と述語の位置が離れている文)
- ▲ 必要な内容を適切に引用して、自分の考えを書くこと

- 文脈に即して漢字を正しく読むこと
- 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解すること
- ▲ 説明文の要旨を捉え、本文を引用して、自分の考えを書くこと
- ▲ 表現の工夫や登場人物の言動について自分の考えを書くこと

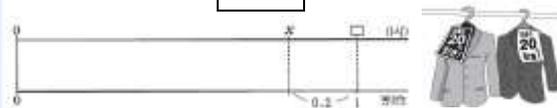


#### 算数 数学



- 基本的な四則計算をすること(混合計算は課題) 例  $4+2.3 \times 0.8$
- 2つの観点から分類整理された表を理解すること
- ▲ 正三角形を作図する方法を理解し、正三角形の特徴を理解すること
- ▲ 示された考え方を解釈し、その考え方を**用いて**問題を解決すること

- 正負の数の計算ができること
- 図形の展開図について理解すること
- ▲ 度数分布表とヒストグラムから**最頻値**を求めること
- ▲ 数量の関係を**文字式**に表すこと



#### 理科



- 実験結果を基に、水の温まり方を考察して分析すること
- 植物の受粉と結実についての概念を理解すること
- ▲ 顕微鏡や方位磁針などの実験観察器具の適切な操作方法を身に付けていること
- ▲ 天気の変化と気温の変化を関係付けて、グラフなどから1日の気温の変化を分析すること

- 反射した光と太鼓から出た音の速さの違いを理解すること
- ろ過についての実験操作を検討して改善し、適切なるろ過の方法を説明すること
- ▲ 特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水のそれぞれの質量を求めること
- ▲ 溶解度を基に、物質が溶け残る質量を求めること



# ● 県総合教育センターが実施する研修講座の紹介 ●

県総合教育センターでは、平成30年度も子どもたちの学力向上に向けての研修講座を実施します。  
おすすめの研修講座を紹介いたしますので、ぜひこれらの講座を活用して自らの授業改善につなげてください。

## 国語

[講座名] **授業づくり(小学校国語) 8月21日(火)**

[講師] 京都女子大学 教授 水戸部 修治  
[ねらい] 単元など内容や時間のまとまりを見通した指導計画の作成や、主体的・対話的で深い学びを引き出す授業づくりの基本について研修します。

[講座名] **授業力向上研修(小学校国語) 8月9日(木)**

[講師] 大妻女子大学 准教授 樺山 敏郎  
[ねらい] 知識及び技能や、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの思考力、判断力、表現力等を育成するための実践的指導力など、高い専門性を身に付けるとともに、学習指導の創意工夫や適切な学習評価について考え、授業力の向上を目指します。



## 算数

[講座名] **授業づくり(小学校算数) 7月24日(火)**

[講師] 奈良教育大学 教授 近藤 裕  
[ねらい] 単元など内容や時間のまとまりを見通した指導計画の作成や、主体的・対話的で深い学びを引き出す授業づくりの基本について研修します。

[講座名] **授業力向上研修(小学校算数) 7月27日(金)**

[講師] 横浜国立大学 教授 石田 淳一  
[ねらい] 概念や性質の理解に裏付けられた確かな知識及び技能を習得し、論理的、統合的・発展的に考察し表現する力を養うための実践的指導力など、高い専門性を身に付けるとともに、学習指導の創意工夫や適切な学習評価について考え、授業力の向上を目指します。



## 英語

[講座名] **小学校教師のための英語力・指導力向上研修 8月2日(木)、8月10日(金)**

[講師] 日本福祉大学 准教授 中西 哲彦 皇學館大学等 Native Speaker  
[ねらい] 新学習指導要領で示された小学校における英語教育の早期化・教科化に対応するため、授業の実際の場合、どのように英語を使って、どのように授業を進めていったらよいか等について、文部科学省が配付した新教材を使って実践演習を行い、英語力・指導力の向上を図ります。



## 理科

[講座名] **授業づくり(小学校理科) 8月10日(金)**

[講師] 奈良教育大学 教授 森本 弘一  
[ねらい] 単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した指導計画の作成や、子どもたちが観察、実験の結果をもとに考察し、科学的に考えたり説明したりする子どもたち主体の授業を行うための適切な指導、学習評価の基本を学びます。



## 道徳

[講座名] **授業づくり(道徳) 7月31日(火)**

[講師] 京都産業大学 教授 柴原 弘志  
[ねらい] 「考え、議論する道徳」の授業づくりと、学習評価の在り方について研修し、授業力の向上を目指します。



## プログラミング教育

新学習指導要領では、小学校においてプログラミング教育を行うことが示されました。そこで、県教育委員会では、昨年度の取組をふまえ、プログラミング指導者育成研修を核とし、プログラミング教育の普及推進を図ります。

[講座名] **プログラミング指導者育成研修**

[目的] 県内各市町等において、今後プログラミング教育を推進していく指導者を育成します。

[内容] プログラミング教育の概要などを学ぶ講義や各種プログラミング教材を体験的に学ぶ演習等を実施します。

[講座名] **ICT活用指導力向上講習会**

[目的] 教員のICT指導力の向上を目指します。

[内容] 「情報モラル」、「情報セキュリティ」、「協働活動におけるICT活用」、「プログラミング教育」に関する講義・演習を実施します。



授業改善につながる研修をしたい!

学校や地域にしながら学びたい!

学校や地域の課題に応じた研修をしたい!

**\* 出前研修のご案内 \*** 研修主事が学校や地域に出向いて、オーダーメイドの研修を実施します!

<対象> 県内の公立小・中学校等および県立学校の教職員

<研修プラン> ● **校内研修応援プラン** : ex. 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業づくりより効果的な「めあて」と「振り返り」について  
カリキュラム・マネジメントについて

● **活用力を育む授業づくりプラン** : 「国語の問題づくり」、「算数の問題づくり」

\* お申込み、お問合せは、研修企画・支援課 企画・支援班まで (TEL : 059-226-3428 FAX : 059-226-3706)

上記の詳細や、その他研修講座の案内は県総合教育センターHP <http://www.mpec.jp/> 参照

